

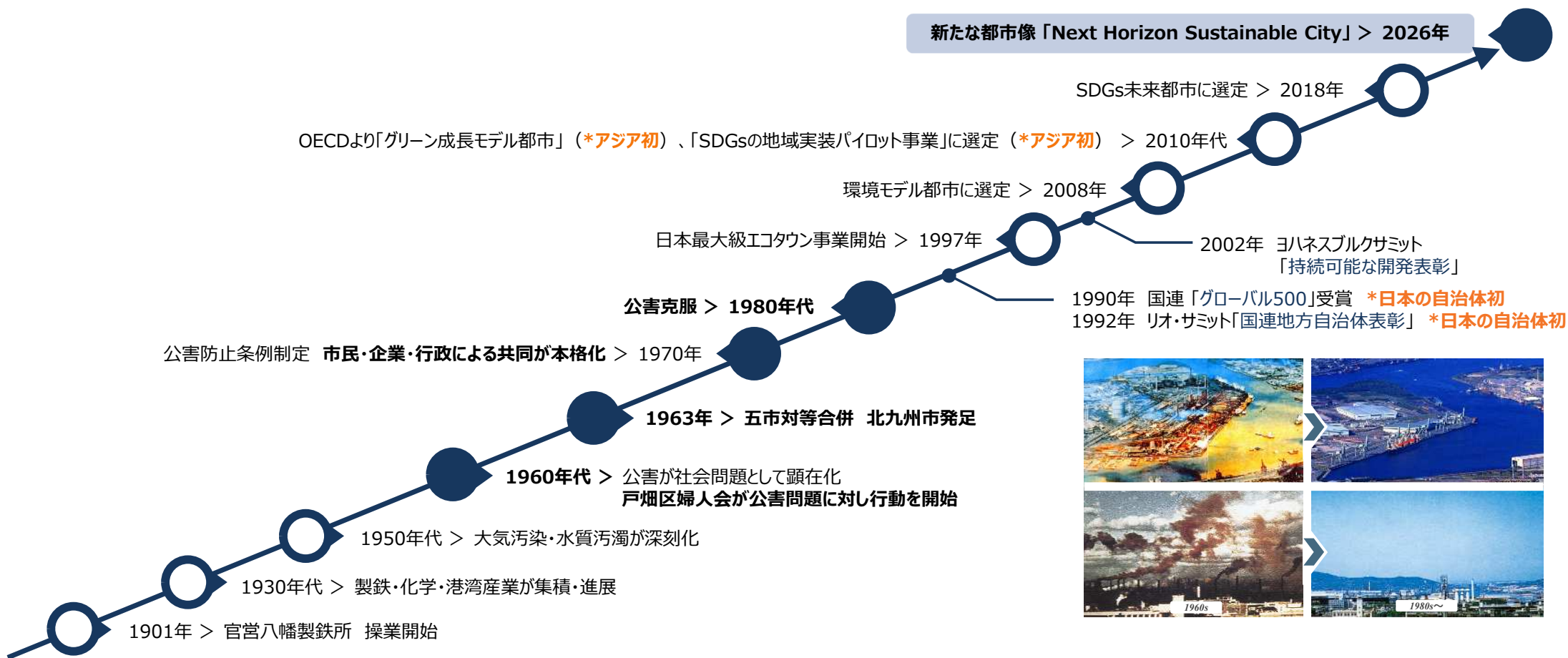


Next Horizon Sustainable City

ネクストホライズン・サステナブルシティー「持続可能な都市」の次の地平線へー
2026 City of Kitakyushu

サステナブルシティ北九州市の歩み

北九州市は、いつの時代も最先端を走り続け、何度も課題に直面しては、そのたびに、市民とともに自らを変革し続けました。



どうすれば「次なる地平線」に行けるのでしょうか？

北九州市は、変革主体（transformative agent）として、ネクストホライズン・サステナブルシティに向けた三つのプロジェクトを実施します。

Retalabo（リタラボ）

- 利他的で、再生的で、かつ変革主体（transformative agent）としての実践ラボを設立します
- 市民と産業界・行政・学術界との協働を通じて、複雑かつ困難な課題（wicked problem）を解決するためのプロセスを構築します
- 戦略的デザインによって世界を先導する取り組みを追求し、その経験を世界へ共有します

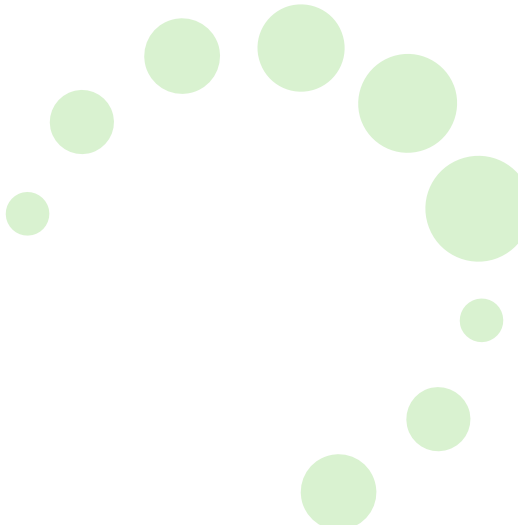
Destination Project（目的地プロジェクト）

- GDS-Index（Global Destination Sustainability Index）などを活用しサステナビリティに関心をもつ人々が「一生に一度は訪れたい」「何度も繰り返し訪れたい」と思う「目的地」となることを目指します

Matsuri Project（まつりプロジェクト）

- 多様な分野を横断して取り組むことで市民の日常生活に根ざしたサステナビリティを活性化し、より持続可能な都市に向けた市民の熱意と機運を喚起します





About “Retalabo”

リタラボとは何か

ネクストホライズン・サステナブルシティを 具体化するための活動拠点

単なる場ではなく、

市民参加・産官学連携・分野横断の共創

を通じて社会課題を解決する場

- コミュニケーションを活性化
- 行政、企業、大学、市民をつなぐハブ
- 人が出会い、お互いを知り、議論を深め、小さくやってみて、
社会で実装する
- 社会課題を解決するために実験・実装する拠点



About “Retalabo”

- Mission（何をするか） -



**社会課題を自分ごと化し、
市民の力と産官学民の共創で、
持続可能な都市の未来を実装する**

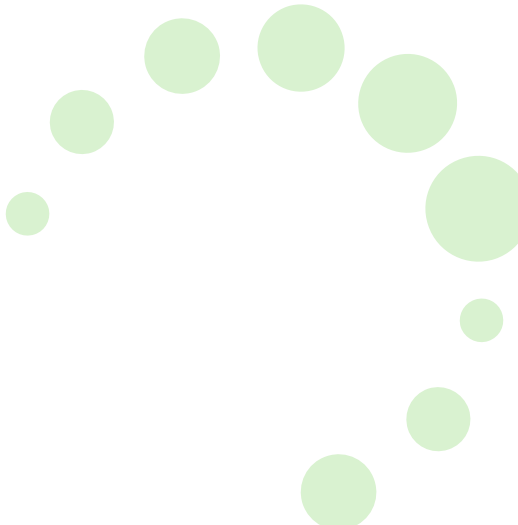
学びで終わらせず、現場で試し、成果と失敗を知恵に変えて次世代へつなぐ

About “Retalabo”

- Vision（目指す姿） -

市民の力と産官学民の共創で、
社会課題への挑戦が生まれ続ける、
都市変革の“**プロトタイプシティ**”北九州

挑戦する人が活躍できるまちへ



● About “Retalabo”

- Values (大事にする価値観) -

- ・ **市民・事業者起点** (当事者の声から設計する)
- ・ **分野横断の共創** (産官学民連携)
- ・ **プロトタイプ** (小規模実証 → 検証 → 改善 → 展開)
- ・ **透明性と説明責任** (成果・学びの共有)
- ・ **安全・コンプライアンス** (個人情報、秘密保持)
- ・ **持続可能性** (運営の仕組み化・世代継承)

About “Retalabo”

リタラボメンバー

想 い

- 北九州の未来をより良くしたい！
- 社会課題を一緒に解決したい！
- このまちを世界に誇りたい！

自分ごと

環境、地域、教育、経済、
暮らしの課題を、誰か任せにしない

越 境

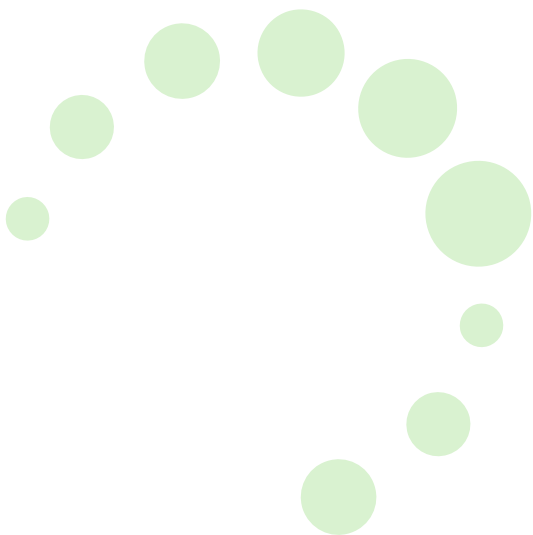
行政、企業、大学、市民、クリエイターなど
分野を越えてつながることに価値を感じる

実 践

構想だけでなく、実証、プロジェクト、
社会実装まで進めることを重視

楽しむ

強制や義務ではなく、サステナビリティを
ワクワクする日常文化に変えたい





About “Retalabo”

- Retalabo プロジェクト -

健康・ウェルビーイング

- 市内総合病院
×健康予防ビジネス
で稼げるまちへ
- サステナ
×地元飲食店
- NTT東日本
×睡眠改善プログラム
(ウェルネスサポート)
- OUR STORIES
×SOMPOジャパン

教育・人材育成

- サステナ見える化ひまわりプロジェクト
×高校×小学校
- ギラヴァンツ北九州×SPL
- 次世代サステナリーダーシッププロジェクト
×shikakeru
- ギラヴァンツ北九州×サステナブル

先端技術・デジタル

- 国家戦略特区
×先端技術プロジェクト
(フィジカルAI)

地域・まちづくり

- 都市変革プロジェクト・サステナショーケース
- 小倉南区空き家対策×コンビニ
- 市民プロジェクト×プラチナ市役所PJ

観光・地域ブランディング

- サステナツーリズム
×小倉南区役所
×ネイチャーポジティブ

About “Retalabo”

- Retalaboが提供できるもの -

つながる

行政、企業、大学、市民、学生など、普段は出会いにくい人や組織とつながる。

学びあう

参加者がそれぞれの知識、経験、違和感を持ち寄り、互いに学び合う。

スキルアップ

実際の社会課題に取り組むプロジェクトを通じて、実践的なスキルを身につけることができます。

About “Retalabo”

- Retalabo参加者のルール 安心して話し、試し、学び合うために -

1 立場や肩書を越えて対話する

所属、役職、年齢、専門性にかかわらず、参加者は対等です。特定の人だけで議論を進めず、全員が関われる場をつくれます。

2 営業活動や勧誘を目的としない

リタラボは、商品やサービスの販売、顧客獲得、自社の宣伝、個別の営業活動を行う場ではありません。企業や団体の紹介を行う場合も、共創や課題解決に必要な範囲にとどめ、参加者への一方的な売り込みや勧誘は行わない。

3 ここで生まれたアイデアは、みんなで育てる

対話の中で生まれたアイデアは、特定の個人や組織だけのものとして囲い込まず、参加者の知恵や経験が重なって生まれた共創の成果として扱います。



About “Retalabo”

- Retalabo参加者のルール 安心して話し、試し、学び合うために -

4 分からないことや未完成な意見を歓迎する

「分からない」「教えてほしい」「まだ考えがまとまっていない」と言えることを大切にします。
知識の有無や発言の完成度で参加者を評価しません。

5 失敗や未完成を責めない

リタラボでは、小さく試し、失敗から学ぶことを重視します。
うまくいかなかった人を責めるのではなく、得られた気づきを次の実験に生かします。

6 否定から入らない

「できない理由」だけを挙げるのではなく、「どうすればできるか」を一緒に考えます。
反対意見を述べる場合も、問いや改善案を添えます。

About “Retalabo”

- Retalabo参加者のルール 安心して話し、試し、学び合うために -

7 発言しない自由も尊重する

発言を強制しません。考える時間が必要な人や、まずは聴くことから参加したい人の意思も尊重します。

8 決めつけず、問いかける

「普通はこうだ」「あなたはこういう人だ」と決めつけません。思い込みや前提に気づくために、相手の考えや背景を問いかけます。

9 違いを価値として扱う

意見の違いは、対立ではなく、新しい発想を生み出す材料です。少数意見や違和感も、議論を深める大切な声として扱います。

10 困ったときは声を上げる

不安、不快感、営業行為、アイデアの独占、発言しづらさなどを感じた場合は、進行役や運営者に伝えることができます。

運営側は、その声を軽視せず、必要に応じて場の進め方を見直します。

Next “Retalabo”

日 程 令和8年8月26日(水) 10:00ー12:00

場 所 北九州市役所3階 大集会室

アジェンダ ・guest speaker 株式会社日建設計 吉備 友理恵
「まちの未来に新しい選択肢をつくる」日建設計の共創プラットフォームPINTとは
・ワークショップ&インプット 共創の場「リタラボ」のデザインに向けて
KESIKI

吉備 友理恵(きびゆりえ)
株式会社日建設計イノベーションデザインセンター・アソシエイト

1993年大阪生まれ。神戸大学工学部建築学科卒業。東京大学大学院新領域創成科学研究科修了。株式会社日建設計NAD室(現コモンズグループ)に入社し、一般社団法人FCAJへの出向を経て現職。株式会社日建設計にて共創プラットフォーム「PYNT(ピント)」を運営し、まちを舞台に社会課題に取り組む共創プロジェクトの企画・推進を行う。また、共創を概念ではなく誰もが取り組めるものにするためのツール「パーパスモデル」を考案し、書籍化。実践と研究を行き来しながら、一人ひとりが「変化をつくれる実感」がもてる社会を目指す。特技は解像度の高い他己紹介、面白いと思った人の推し活、手を動かすタイプの応援。

